

報道関係各位

2025年9月9日
三菱地所株式会社

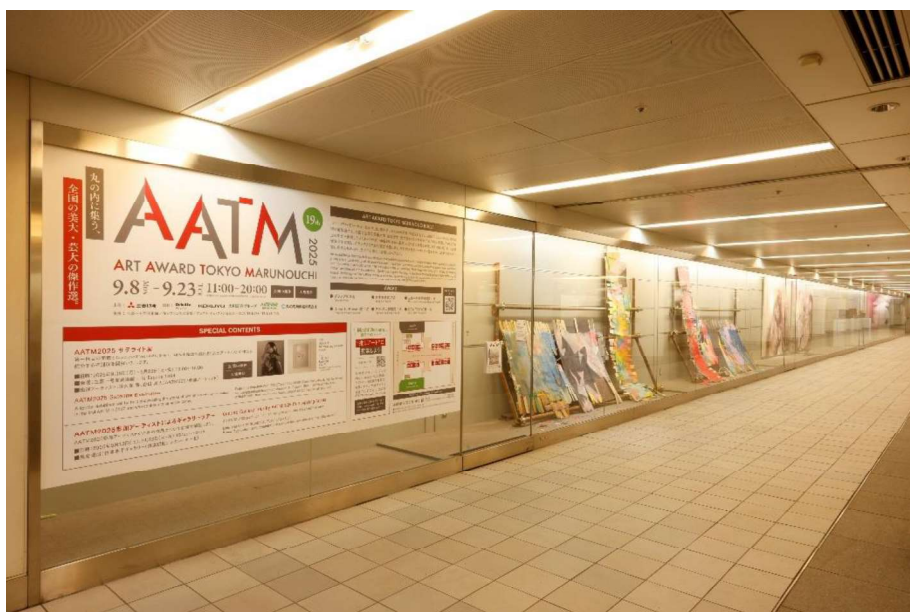
～丸の内が若き才能に包まれる、次世代アート展～
アート アワード トーキョー マル ノ ウ チ
『**ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2025**』がスタート
グランプリ、審査員賞など各賞が決定
開催期間：2025年9月8日（月）～9月23日（火・祝）
開催場所：行幸地下ギャラリー

行幸地下ギャラリーを中心に、若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術の展覧会「**アート アワード トーキョー マル ノ ウ チ ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2025**」（以下、AATM）が9月8日（月）にスタートいたしました。

19回目の開催を迎えたAATMは、今年も全国18校からノミネートされた146点の作品より、厳選した20作品の展示を実施。開幕日の9月8日（月）には、20作品の中からグランプリ、審査員賞など各賞を決定・発表し、表彰式を行いました。



各受賞者を含め参加した 20 名のアーティスト

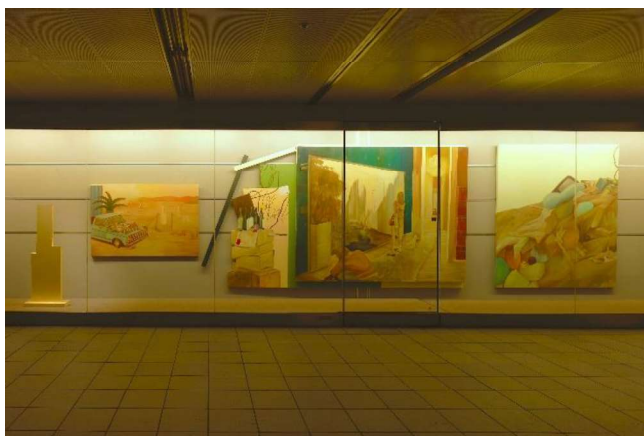


アートアワードトーキョー丸の内 2025 展示風景

グランプリは相波エリカさん（東京藝術大学 大学院）が受賞し、表彰状の授与と副賞として三菱一号館美術館 Espace 1894 での展示の機会に加え、賞金が贈呈されました。



グランプリを受賞した相波エリカさん
(左 審査員 建畠哲、右 三菱地所 執行役員 榎林康治)



アートアワードトーキョー丸の内 2025 グランプリ受賞作品
相波エリカ「serious and unimportant」

相波さんは受賞に際し、「こういった賞は初めてで大変驚いています。まだ言葉が追いつかないのですが、これまで続けてきてよかったなと思います。」と喜びを語りました。

また、審査員の建畠哲氏（多摩美術大学 名誉教授）は、「相波さんの作品は、一見すると日常的な光景画ですが、その中に抽象的な雰囲気や微かなアレゴリーのようなものが漂っています。現実の中に潜む予兆や不穏さを感じさせつつも、全体としてはチャームな世界を醸し出している。非常に独自の魅力を持つ作品であり、グランプリにふさわしいと感じています。」と評しました。

各賞の受賞者は下記の通りです。

賞名	受賞者
グランプリ	相波エリカ（東京藝術大学 大学院）
審査員 今村有策 賞	江崎空悟（武蔵野美術大学 大学院）
審査員 木村絵理子 賞	西田咲貴（名古屋造形大学）
審査員 後藤繁雄 賞	楊琢（多摩美術大学 大学院）
審査員 小山登美夫 賞	橘葉月（京都市立芸術大学 大学院）
審査員 建畠哲 賞	橘葉月（京都市立芸術大学 大学院）
審査員 藪前知子 賞	和田竜汰（東北芸術工科大学 大学院）
薄久保香 賞（ゲスト審査員賞）	松浦美桜香（多摩美術大学）
Deloitte Private 賞	中村夏野（京都市立芸術大学 大学院）
フランス大使館 賞	和田竜汰（東北芸術工科大学 大学院）
OCA TOKYO 賞	楊琢（多摩美術大学 大学院）
三菱一号館美術館 賞	吉田鷹景（京都市立芸術大学）

表彰された作品を含む 20 作品は、9 月 23 日（火・祝）まで行幸地下ギャラリーに展示されています。

参加作家の作品など詳細は下記よりご覧いただけます。ぜひ会場へお立ち寄りください。

<https://www.marunouchi.com/pickup/event/7303/>

また、期間中は第1回目の開催となったAATM2007に参加し、現在も活躍を続ける薄久保香氏、谷口真人氏の2名のアーティスト作品を紹介する特別展「**AATM2025 サテライト展**」を三菱一号館美術館 Espace 1894にて開催しています。

丸の内は今後も、文化・芸術の発信地としてアートとの出会いの場を創り出し、若いアーティスト達の可能性を広げていきます。次世代を担うアーティスト達の清々しく斬新な感性が一堂に会する丸の内で、ぜひお楽しみください。

■「ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2025」開催概要

＜開催日程＞ 2025年9月8日（月）～9月23日（火・祝） 11:00～20:00

※最終日のみ18:00まで。

※観覧可能時間は変更になる場合がございます。

＜展示会場＞ 行幸地下ギャラリー

＜入場＞ 無料

＜主催＞ 三菱地所株式会社

＜協賛＞ Deloitte Private／コクヨ株式会社／大和証券グループ／
能美防災株式会社／丸の内熱供給株式会社

＜後援＞ 三菱一号館美術館／在日フランス大使館／
アンスティチュ・フランセ東京／OCA TOKYO／TOKYO MX

＜Webサイト＞

<https://www.marunouchi.com/pickup/event/7303/>



●行幸地下ギャラリー

JR 東京駅地下道、直結、丸ノ内線の改札を出てすぐ。東京駅前、「丸ビル」と「新丸ビル」をつなぐ地下通路のギャラリースペースです。

【審査員】（五十音順）

池田祐子氏（三菱一号館美術館 館長）

今村有策氏（東京藝術大学大学院美術研究科 教授 副学長）

薄久保香氏（現代アーティスト ゲスト審査員）

木村絵理子氏（弘前れんが倉庫美術館 館長）

後藤繁雄氏（編集者、クリエイティブディレクター、京都芸術大学 名誉教授）

小山登美夫氏（小山登美夫ギャラリー 代表、日本現代美術商協会 副代表理事）

建畠哲氏（多摩美術大学 名誉教授）

野口玲一氏（三菱一号館美術館 学芸員）

藪前知子氏（東京都現代美術館 学芸員）

■AATM2025参加アーティストによるギャラリーツアー

AATM2025参加アーティストが自身の作品について会場で解説します。

■日時：2025年9月13日（土）、9月23日（火・祝） 15:00～16:30

■集合場所：行幸地下ギャラリー（東京駅側エスカレーター上）

※事前申込不要

※13日と23日で参加アーティストが異なります。詳細は Web サイトをご覧ください。

■AATM2025 サテライト展

第1回目の開催となったAATM2007に参加し、現在も活躍を続ける2名のアーティストの作品を紹介する特別展を開催しています。

<日時> 2025年9月8日（月）～9月23日（火・祝）10:00～18:00

会期中無休、入場無料

<会場> 三菱一号館美術館 Espace 1894

<出展アーティスト> 薄久保香・谷口真人（AATM2007参加アーティスト）



薄久保 香
the muse and the fallen 2016 年



谷口 真人
Untitled 2024 年
©Makoto Taniguchi Courtesy of AKIINOUE

薄久保香

現在、東京藝術大学美術学部絵画科准教授。2010 年、東京藝術大学大学院美術研究科博士課程美術専攻修了博士号(油画)取得。主な展示に、「Wandering season」(TARO NASU、東京、2007)、「crystal moments」(LOOCK Galerie、ベルリン、2011)、「横浜トリエンナーレ 2011」(横浜美術館、横浜 2011)「Kaoru Usukubo, Ha nnes Beckmann」(LOOCK Galerie、ベルリン、2017)、「Kaoru Usukubo and Daisuke Ohba」(LOOCK Galerie、ベルリン、2020)、「SF-Seamless Fantasy-」(MA2 gallery、東京、2021)などがある。



谷口真人

2005 年、武蔵野美術大学造形学部デザイン情報学科卒業、2007 年、東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。主な個展に、「あのこのいる場所をさがして」(AKIINOUE、東京、2025)「Where is your ♡?」(NANZUKA、東京、2022)、「We-presence」(Yoshiaki Inoue Gallery、大阪、2020)、また主なグループ展に「さいたま国際芸術祭 2023」(旧市民会館おみや、埼玉、2023)、「TOKYO POP UNDERGROUND」(Jeffrey Deitch、ニューヨーク、ロサンゼルス、2019)や「Condo New York: Nanzuka at Petzel」(Petzel、ニューヨーク、2018) などがある。



【スマートフォンアプリ「PINTOR（ピントル）」を導入】

展示作品の解説を読むことや作品に対しての質問を投稿するとアーティストから回答をもらうことができ、より“深い”アート鑑賞を行えます。（※一部参加作家を除く）。さらに、来場者同士で展示会の感想をシェアするなど、アプリを通して新しい楽しみ方ができるようになりました。公式ホームページ：<https://company.pintor.jp/>

＜丸の内“まちまるごとワークプレイス”構想＞

丸の内エリアの特性の一つは、135年以上にわたるまちづくりを通じてお客様や様々なステークホルダーと共に築き上げてきた「利便性と集積」です。その特性を踏まえ、テナント企業が自社オフィスだけでは実現できないことや、個社単独の取り組みでは実現しにくいことを「まちまるごと」でサポート、エリア全体がプラットフォームとして機能することで、働き方の質や効率を高めます。



▲まちまるごとワークプレイスのイメージ

始動リリース：https://www.mec.co.jp/news/detail/2025/05/22_mec2500522_machi

以 上

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

「AATM2025」広報事務局（株式会社OHANA内）担当：妹尾・細川

TEL：03-6869-7881（月～金 10：00～18：00）

E-mail：marunouchi-art@ohanapr.co.jp

＜本件に関する一般の方のお問い合わせ先＞

丸の内コールセンター TEL：03-5218-5100（11:00～21:00）

※但し、日曜・祝日は 20:00 まで（連休の場合は最終日のみ 20:00 まで）